

自己と地域の人々の思いを関連付けることを通して、  
町づくりに関わる概念を形成する授業

上村 慎吾

1 単元名

新潟開港 150 周年記念事業をプロデュース（3 年）

2 目 標

- 新潟開港 150 周年記念事業のイベントの提案プランを計画し、発信する活動を通して、自分たちが思い描くみなとまち新潟と、事業に携わる方々が大切にしたいみなとまち新潟との共通点を基に、開港 150 周年記念事業で大切にすべき要素を見いだすことができる。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業に携わる方々へのインタビュー、ICT を活用してイベントの提案プランの編集、SNS を活用してイベントの発信などの方法を理解することができる。</li><li>・ みなとまち新潟は、今あるみなとまち新潟の魅力（水辺のやすらぎ、歴史、文化、自然など）が活かされ、事業に携わる方々の思い（次の世代につなぎたい、持続可能なものにしたいたいなど）が相互に関連付けられ、構成されていくという概念を形成することができること。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業に携わる方々へのインタビューを通して、情報を集め、整理・分析し、提案プランを考え、それらを SNS を介して発信することができる。</li><li>・ イベントの提案プランのコンセプトと事業に携わる方々が大切にしてきた思いを関連付けることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 他者と協働したり、事業に携わる方々の思いに傾聴したりしながら、未来のみなとまちづくりに貢献しようとする。</li></ul>

4 本単元を学習する意義

本単元では、探究課題として地域や学校の特色に応じた課題（新潟開港 150 周年記念事業）、自己の将来に関する課題（社会への貢献）を基に、新潟開港 150 周年記念事業のイベントの提案プランをミズベリングやすらぎ堤研究会と協働して創造することに取り組む。ミズベリングやすらぎ研究会（以下、研究会と表記）は、新潟市やすらぎ堤沿岸を活用した未来のまちづくりの企画、運営に先進的に取り組んでいる団体である。2019 年に新潟市は開港 150 周年を迎える。研究会では、みなとまち新潟の歴史や文化をはじめとする多様な地域資源を活かした新潟ブランドの再構築を図るとともに、国内外に広く発信するためのイベントを企画しようとしている。そこで、これからの新潟市の未来を担う生徒に、研究会と連携して、開港 150 周年事業に関連したイベントを中学生の視点から提案するように単元を構成する。

生徒の実態として、1年次では東京班別学習で社会で必要な力について理解を広げ深めてきた。2年次では、台湾の旅でグローバル社会で立場・考えを超えた協働に必要な力について理解を広げ深めてきた。このような生徒に、研究会と協働して地域に貢献するように働き掛けることで、生徒はグローバルな視点から考えるとともに、地域を視点に自分たちが今もっている力やできることを行動に移そうという目的意識を醸成することができる。

提案プランを作成する探究過程において、生徒は開港150周年記念事業の取組や新潟市の町づくりに関する取組を調べる。また、研究会をはじめ、新潟市地域・魅力創造部2019年開港150周年推進課（以下、150周年推進課と表記）の方々との出会いを通して、生徒は、みなとまち新潟の魅力を伝えるために大切にすべき要素を見いだしていく。そして、提案プランを考えるために、事業に携わる方々の視点から助言・評価をもらいながら、大切にすべき要素を再構成することで、生徒は、みなとまち新潟は、今あるみなとまち新潟の魅力が活かされ、事業に携わる方々の思いが相互に関連付けられ、構成されていくという概念を形成し、町づくりに貢献しようとする資質・能力の高まりを実感するのである。

## 5 本单元における手だて

### <手だてア>

研究会から、新潟開港150周年記念事業に連携してほしい依頼を受ける情況設定をする。

他者と協働して未来のみなとまち新潟を創造しようとする態度、未来のみなとまち新潟に関する課題を見だし、「問い」を設定するという資質・能力を発揮させるために行う。

#### ○ 研究会の代表・鈴木さんからの提言

研究会代表の鈴木寿行さんから、これからの社会では、必要とされる力を発揮し、他者と協働して未来を創造することの意義について提言してもらう。さらに、新潟の地域資源を活かした未来のみなとまちづくりを国内外に発信しようとしているミズベリングやすらぎ堤研究会の取り組みなどを紹介してもらう。鈴木さんとの出会いによって、生徒は地元新潟で他者と協働し、新しいみなとまち新潟を創造しようとしている取組に興味を抱き始める。

#### ○ 新潟開港150周年記念事業に連携してほしい依頼を受ける情況設定

みなとまち新潟に興味や何か貢献したいという思いをもった生徒に、研究会の鈴木さん、150周年推進課から新潟開港150周年記念事業に連携してほしい依頼をしてもらう。鈴木さんからは、未来のみなとまちを創造するには、「今ない自由な発想が全ての始まりであること」「イベントを通して、人々がみなとまち新潟を好きになってもらうこと」を視点に、市民や全国の人々がみなとまち新潟に親しみや愛着をもってもらおうことの大切さを話してもらう。150周年推進課の方からは、150周年事業の方針として、みなとまち新潟の魅力の再認識をしたり、事業推進によって人々がつながり、「ALL新潟」の姿勢を創り出したりしたいなど事業のコンセプトを



【講話の様子】

説明してもらおう。

この働き掛けによって、「みなとまち新潟の魅力を活かしたイベントを発案したい」という目的意識が醸成され、これまで考えてきた社会で必要な力を発揮して貢献したい思いを抱き、下記の課題を見いだす。

＜本単元における課題＞

新潟市の人々や全国の人々にみなとまち新潟を知ってもらうために、魅力を活かしたイベントとはどのようなものだろうか

講話の後、生徒が興味あるイベントのコンセプト（活かしたいみなとまち新潟の魅力：歴史、文化、食、遊び、観光など）ごとにグループを構成し、グループでイベント企画に取り組みさせる。

＜手だてイ＞

開港 150 周年記念事業に携わる方々へのインタビューの結果の集約や自分たちのイベント提案を企画できるようにタブレット端末を提示する。

提案プランに必要な情報を集める手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を収集し、多角的・多面的に分析したりするという資質・能力を発揮させるために行う。

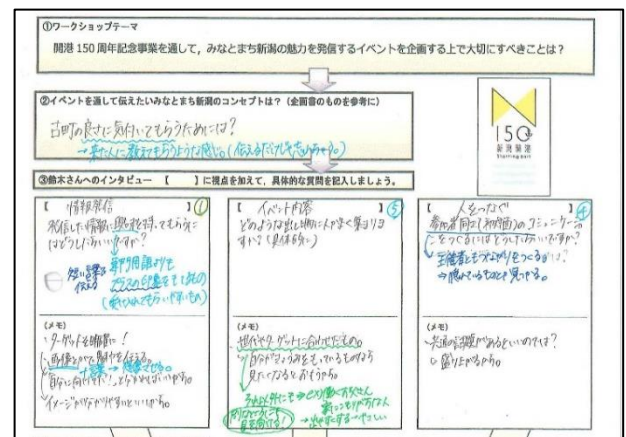
研究会の鈴木さんから提案プランのモデルを提示してもらい、提案プランを作成させる。タブレット端末を活用して、画像を合成し、活かしたいみなとまち新潟の魅力であるコンセプト、主な対象、場所、配置イメージ、時間帯、必要物品など試案する。

また、生徒が考えるイベントを実際に活動に移している研究会の鈴木さんへインタビューを行い、イベントを企画する上で大切なことを調査する。イベントで大切にすべき要素、150周年記念事業の目的、開港と市民のこれまでの生活のつながり、大きなイベントを企画するためのヒントなどを得ることができるようにする。

最後に、研究会の鈴木さんの考え、開港 150 周年記念事業のパートナー事業、他市で行われているミズベリングの取組などを比較しながら、イベントの企画書をタブレット端末を活用し、分類、集約



【イベントの企画書】



【提案プランに必要な要素】

するように働き掛ける<sup>1</sup>。

この働き掛けによって、生徒は集めた情報を収集、多面的・多角的に分析して、みなとまち新潟の魅力を活かすために必要な提案プランの要素（情報発信、人とのつながり、新潟の魅力を再発見、継続性のあるイベントなど）を見だし、提案プランをより具体的に考えることができるようになる。

### ＜手だてウ＞

自分たちの活動の取組を新潟市開港 150 周年記念の HP に SNS を介してアップする活動を組織する。

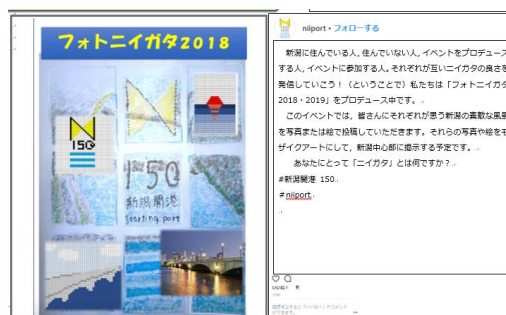
150 周年記念事業の目的、研究会、市役所、事業に携わる方々の思いや願いを踏まえて、自分たちの提案内容を論理的に表現したり、評価したりするという資質・能力を発揮させるために行う。

開港 150 周年推進課、研究会の方々の助言を受け、新潟市の次世代にあたる自分たちの今現在の取組を、新潟、全国に発信する助言を受ける。

その後、新潟市開港 150 周年記念の HP に SNS<sup>2</sup>を介して自分たちの取組をまとめる活動を組織する。

この働き掛けによって、これまで作成してきたイベントの企画書の内容や鈴木さんへ

のイベントを企画する上で大切なことなどを基に、みなとまち新潟の魅力を発信しようとする。



【生徒の作成するInstagram】

### ＜手だてエ＞

新潟市開港 140 周年記念事業や他市の開港記念事業の困難点、開港 150 周年記念事業に携わる方からの助言を提示する。

みなとまち新潟は、今あるみなとまち新潟の魅力が活かされ、事業に携わる方々の思い（次の世代につなぎたい、持続可能なものにしたいなど）が相互に関連付けられ、構成されていくという概念を形成するという資質・能力を発揮させるために行う。

SNS を介して提案プランの紹介内容を考えた後に、授業者から新潟市開港 140 周年記念事業や他市の開港記念事業の困難点、そして研究会代表の鈴木さんからの助言を提示する。開港 140 周年記念では、約 6 万人の参加者の 9 割が開港イベントを知らなかったことやイベントのコンセプトが何であるかがわかりにくいという開港記念の困難点、さらにはイベントが記念事業だけにおける単発の活動になっている実態、事業数の減少、事業に携わる方々の思いが参加者と共有できない現状に気付く。

生徒は、開港記念を通して、新潟市の人々がみなとまち新潟の魅力を再認識できていなか

<sup>1</sup> 使用するアプリケーションは「ロイロノート・スクール」とする。

<sup>2</sup>使用するアプリケーションは「Instagram」とする。

ったり、次世代に継承することができていなかったりする切実な事実直面する。生徒は、開港 150 周年記念事業のイベントで大切にすべき要素を再考し始める。

この働き掛けによって、生徒は自分たちが思い描くみなとまち新潟と、事業に携わる方々が大切にしてきたみなとまち新潟との共通点を基に、開港 150 周年記念事業で大切にすべき要素を再考する。これまでの提案プランを作成するまで得てきた知識をつなげ、自分たちが発信したいみなとまち新潟という 1 つの概念を形成することができる。

### <参考・引用文献>

- 新潟市ホームページ『新潟開港 150 周年記念事業 基本計画骨子 (案)』  
([https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/kaiko150/kaiko150\\_setsuritsu.files/kossi.pdf](https://www.city.niigata.lg.jp/shisei/seisaku/jigyoproject/kaiko150/kaiko150_setsuritsu.files/kossi.pdf) 2018/04/01 アクセス)
- 国土交通省北陸地方整備局 『新潟みなと水遊記をとおしてのNPOや地域とのコミュニケーション「新潟みなと水 2009」の報告』  
(<http://www.hrr.mlit.go.jp/library/happyoukai/h22/akaunta/03.pdf> 2018/04/01 アクセス)
- MIZBERING ホームページ ( <http://mizbering.jp/> 2018/04/01 アクセス)

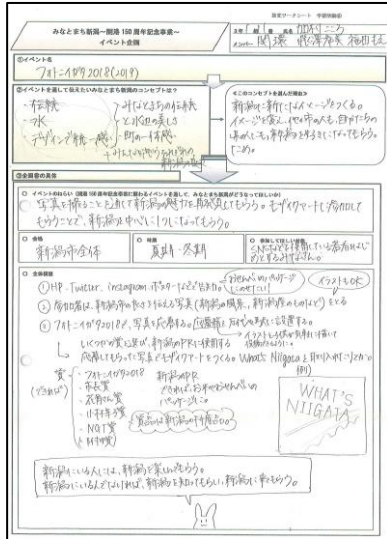


目的意識	生徒の意識	学習活動・学習内容	教師の支援・指導	評価の観点 評価の方法	
新潟市開港150周年記念でみなとまち新潟の魅力を活かしたイベントを提案したい	力を発揮し、行動に移すことが大切なんだな	<p>① 「3年探究」のガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年次の総合的な学習の時間「探究」のねらいや主な学習活動について説明を受ける。</li> <li>○ 台湾の旅の学習の成果と課題を認識し、今後の探究で学ぶ内容を明らかにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成果—日本, 世界で働くフィールドが違ってても, 必要な力は変わらないこと</li> <li>・ 課題—必要な力を実際に発揮し, 行動に移すことが大切なこと</li> </ul> </li> </ul> <p>② みなとまち新潟の問題点を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新潟市シティチャンネルが作成した「新潟市プロジェクト」の動画を視聴し, みなとまち新潟の魅力と問題点を把握する。</li> <li>○ みなとまち新潟の魅力の具体を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 萬代橋, 新潟まつり, 新潟総おどり, 北前船など</li> </ul> </li> <li>○ みなとまち新潟の魅力を共有する行事である開港150周年記念事業の概要, 基本方針を資料を基に理解する。</li> </ul> <p>③ みなとまち新潟の魅力を新潟市の人々, 全国の人々に発信している方を招いた講演会を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究会・鈴木さんの講話を通して, 社会で必要とされる力を発揮して未来のみなとまち新潟を創造することの難しさ(市民への周知, 次世代へのみなとまち文化の継承など)ややりがいを学ぶ。</li> <li>○ 開港150周年記念事業に関連して, 信濃川沿岸を活かした未来のまちづくりの計画の現状などを聞く。</li> <li>○ みなとまち新潟の魅力の活かし方を講師とともに再考する。</li> </ul> <p>④ 新潟開港150周年記念事業に連携してほしい依頼を受ける情況設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 150周年推進課から, 開港150周年記念事業の基本方針, 目的などを聴く。</li> <li>○ 新潟の魅力を活かしたイベントの提案をしてほしい依頼を受ける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本単元における課題】 新潟市の人々や全国の人々にみなとまち新潟を知ってもらうために, 魅力を活かしたイベントとはどのようなものだろうか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未来のみなとまち新潟を自由に描き, 自分の提案したいコンセプトを考える。</li> </ul> <p>⑤ イベントを企画し, 作成する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究会の鈴木さんの提案プランのモデルを参考に, 自分たちのイベントのコンセプト, 対象, 場所などを考える。</li> </ul> <p>⑥ イベントを企画する上で大切にすべきことをインタビューする活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究会の鈴木さんにインタビューし, イベントを企画する上で大切にすべき要素を調査する。</li> </ul> <p>⑦ 新潟市開港150周年記念のHPにアップするために, 自分たちの提案内容をSNSにまとめる活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ インタビュー結果を基に, イベントを企画する上で必要な要素を, 自分たちの考えと鈴木さんの考えとを比較しながら見いだす。</li> <li>○ インスタグラムに自分たちの企画するイベントの内容をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生から3年生までの総合的な学習の時間の探究のねらいと流れをスライドにまとめ, 提示する。</li> <li>○ 生徒の台湾の旅の学習のまとめ冊子から, 成果と課題を事前に明らかにしておく。</li> <li>○ みなとまち新潟の問題点を問う。</li> <li>○ みなとまち新潟の魅力の具体を問う。</li> <li>○ 開港150周年記念事業に関する資料を提示する。</li> <li>○ ゲストティーチャーを授業に招くようにする。</li> <li>○ 未来のみなとまち新潟を自由に描き, 生徒が自分が興味あるコンセプトを見いだせるようにワークショップを組織する。</li> <li>○ ゲストティーチャーを授業に招くようにする。</li> <li>○ 推進課の方から150周年記念事業の基本方針や目的を説明してもらう。</li> <li>○ 推進課の方から生徒たちへイベントに関して提案してほしい依頼をする。<b>(手だてア)</b></li> <li>○ イベント企画のモデルを提示する。</li> <li>○ イベントを企画し, 編集できるようにタブレット端末を整備する。<b>(手だてイ)</b></li> <li>○ ゲストティーチャーを授業に招くようにする。</li> <li>○ インタビューの結果を基に, イベントを編集し直すことができるようにタブレット端末を整備する。<b>(手だてイ)</b></li> <li>○ 生徒たちの活動の様子を新潟, 全国に発信するために, 新潟市開港150周年記念のHPにSNSを介してアップできるように内容をまとめる活動を組織する。<b>(手だてウ)</b></li> </ul>	<p>【知・技】 ワークシート</p> <p>【知・技】 ワークシート</p> <p>【思・判・表】 ワークシート</p> <p>【思・判・表】 タブレット端末 ワークシート</p> <p>【思・判・表】 タブレット端末 ワークシート</p>	
	新 潟 開 港 150 周 年 記 念 事 業 っ て 何 だ ろ う	みなとまち新潟の魅力の活かし方次第で未来を創造できるな			
	中 学 生 記 念 事 業 だ け の イ ベ ン ト だ け に な っ て は い け ない 次 世 代 に も つ な ぐ べ き イ ベ ン ト を 考 え る 必 要 が あ る な	中 学 生 記 念 事 業 だ け の イ ベ ン ト だ け に な っ て は い け ない 次 世 代 に も つ な ぐ べ き イ ベ ン ト を 考 え る 必 要 が あ る な			
実 際 に 事 業 に 携 わ る 方 に イ ン タ ビ ュ ー し よ う	実 際 に 事 業 に 携 わ る 方 に イ ン タ ビ ュ ー し よ う				
要 素 を 基 に プ ラ ン を 構 想 し よ う	要 素 を 基 に プ ラ ン を 構 想 し よ う				
自 分 た ち の 活 動 の 取 組 を 発 信 し よ う	自 分 た ち の 活 動 の 取 組 を 発 信 し よ う	<p>⑧ SNSでイベントを紹介する内容を再考する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開港記念事業や他市の開港記念イベントの問題点, 150周年記念事業に携わる方々の思いを再度認識する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記念事業を通して, 新潟市民がみなとまち新潟の魅力を再認識することが大切であること</li> <li>・ 記念事業だけのイベントでは, 次世代にみなとまち新潟が何も継承されないこと, 今後も市民の生活に根付くものが重要なこと</li> </ul> </li> <li>○ 伝えたいみなとまち新潟の魅力と事業に携わる方々の思いを関連付けることが大切であることに気付き, 提案プランに本当に必要な要素を再構成する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【本単元における課題の再設定】 新潟の人々や全国の人々にみなとまち新潟の魅力を知らしめ, 次世代に継承するために, どのようなイベントを企画すればよいか</p> </div> <p>⑨ 自分たちの取組を発信する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新潟市地域・魅力創造部2019年開港150周年推進課, 研究会の方の助言を受け, 自分たちの活動を開港150周年記念事業のHPにアップし, 発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 開港140周年記念事業や他市の開港記念事業の困難点, そして研究会・鈴木さんからの助言を提示する。<b>(手だてエ)</b></li> <li>○ SNSでイベントを紹介する内容を再考するように指示する。</li> <li>○ タブレット端末の記録やワークシートを基に, 提案過程を振り返らせる。</li> </ul>	<p>【思・判・表】 タブレット端末</p> <p>【学】 プログレスカード</p>	

## 2 本時の詳細

### (1) 前時までの学習を終えた生徒の実態

- 150周年記念推進課の方から、開港150周年記念事業の目的や取り組みを学んでいる。(学習活動④)
- 研究会の鈴木さんの提案プランのモデルを参考に、自分たちの活かしたいみなとまち新潟の魅力であるイベントのコンセプト、対象、場所などを考えている。(学習活動⑤)
- 研究会の鈴木さんにインタビューし、イベントを企画する上で大切にすべき要素について調査活動を行っている。(学習活動⑥)



- 150周年推進課の方からの提案として、生徒たちのイベントを紹介する内容をSNS・Instagramにまとめている。(学習活動⑦)

### (2) 本時のねらい

新潟開港150周年記念事業を新潟の人々や全国の人々に発信するための取組をまとめたInstagramの内容を再考する活動を通して、自分たちが伝えたいイベントのコンセプトと、事業に携わる方々が大切にしてきたみなとまちに対する思いとの共通点を基に、150周年記念事業で大切にすべき要素を見いだすことができる。

### (3) 評価基準

- 評価の観点—思考・判断・表現

A	B
<p>開港150周年記念事業のイベントのコンセプト（みなとまちの伝統と水辺の美しさ、名産の米・酒と人々の集いなど）と事業に携わる方々が大切にしてきた思い（みなとまち新潟の魅力を次の世代につなげたい、記念事業だけに終わらないイベントにしたいなど）を関連付けて、自分たちのInstagram紹介文を再考することができる。</p>	<p>開港150周年記念事業のイベントのコンセプト（みなとまちの伝統と水辺の美しさ、名産の米・酒と人々の集いなどなど）と事業に携わる方々が大切にしてきた思い（多くの人々に活動を知ってもらいたいなど）を関連付けて、自分たちのInstagramの紹介文を再考することができる。</p>

### (4) 本時の展開

<p>学習活動・予想される生徒の反応</p>	<p>教師の支援・指導          ■ 評価の観点・方法</p>
------------------------	---

### ① 説明ゲーム

- 開港 150 周年記念事業に関連したキーワードを相手に説明して、推測させる。

### ② ゲストティーチャーから紹介文の内容に対する助言を受ける活動

- 研究会・鈴木さんから事前にいただいた生徒のプランに対する助言を把握する。
- 他市の開港記念イベントの問題点を把握する。
- 生徒は下記の問題点に着目し始める。

- ・ 市民全体の意識を高める PR や情報発信をしていく必要があること
- ・ 記念事業だけのイベントでは、次世代にみなとまち新潟が何も継承されないことから、今後も市民の生活に根付くものにしていく必要があること
- ・ 開港記念に携わる人々の思いを伝えていく必要があること
- ・ イベントのコンセプトを参加する人たちにわかりやすく伝える必要があること

### ③ ゲストティーチャーや他市の開港 150 周年記念事業の改善点を踏まえて、教師が提示したインスタグラムのモデルを検討し、自分たちの改善の方向性を考える活動

- 生徒はモデルに不足している要素を考える。
  - ・ みなとまち新潟の魅力を活かしたコンセプトの具体的な内容が不明な点
  - ・ イベントの PR ばかりしている点
  - ・ 記念事業だけのイベントになっており、次世代の人たちにつながるものになっていない点
  - ・ イベントの参加が大人ばかりになっている点
  - ・ 事業に携わる方々の思いを参加者と共有するものになっていない点

- スライドに開港 150 周年記念事業に関連したキーワードを移し、活動に取り組みせる。

- ゲストティーチャーからの全体に共通した助言を提示する。 **(手だてエ)**

- ・ 次世代の若者にみなまち新潟の魅力を伝えきれない点
- ・ イベント後もイベントが人々とのつながりが継続しなければならない点
- ・ 事業に携わる方々の思いを参加する方々と共有できなくなっている点
- ・ イベントのコンセプトの具体化する点

- 開港 140 周年記念事業や他市の開港記念事業での困難点を提示する。

- ・ 開港 140 周年記念では、約 6 万人の参加者の 9 割が開港イベントの目玉の一つである水遊記を知らなかったこと
- ・ 来訪者に向けた効果的な PR や情報発信

- イベントを紹介したモデルを提示する。  
(例) 水と伝統的祭典の調和



夏の夜を盛り上げる水とみなとまち新潟の伝統的祭典の調和！「萬代橋水上コンサート」を企画中です！

国の重要文化財に指定されている「萬代橋」下で水上コンサートを行います。萬代橋から見下ろす水辺の景色とコンサートの壮大さは観る人全てを魅了します。

コンサートのバックダンサーには、新潟の伝統的祭典を代表する総踊りの踊り手の皆さんが力強く踊ります！歌い手と踊りの両方を観て、聴いて、エンジョイしてください。



踊り手の皆さんはベテランの方ばかりで、素晴らしい演技を披露してくれますよ！  
私たちはこのイベントを実現できるように企画を作成中です！全国に発信していきます！ぜひ楽しみに！  
#新潟総踊り <https://www.soh-odori.net/>  
#新潟開港 150  
#niiport

- 生徒のインスタグラムの紹介文の改善の方向性を見いだすために、下記の発問をする。

<発問>

鈴木さんの助言や他市の開港記念事業の困難点を踏まえ、モデルの紹介文に不足している要素は何だと考えますか。

- 全体で考えを共有する。なお、教師はコーディネーターとして全体の考えを黒板に板書する。

④ 自分たちの活動の取組を新潟市開港 150 周年記念のHPにSNSを介してアップする内容を再考する活動

- インスタグラムにアップする提案内容をグループで再考する。

(例) フォトニイガタ 2018



新潟に住んでいる人、住んでいない人、イベントをプロデュースする人、イベントに参加する人。それぞれが互いニイガタの良さを発信していこう！（ということで）私たちは「フォトニイガタ 2018・2019」をプロデュース中です。このイベントでは、皆さんにそれぞれが思う新潟の素敵な風景を写真または絵で投稿していただきます。それらの写真や絵をモザイクアートにして、新潟中心部に掲示する予定です。

写真は気軽に取れるもの。新潟市民の皆様がみなとまち新潟の水辺の美しさや伝統ある

- 生徒たちの提案を新潟、全国に発信するために、新潟市開港 150 周年記念のHPにSNSを介してアップできるように提案内容を再度まとめる活動を組織する。 **(手だてウ)**

- 以下のように発問する。

<発問>

鈴木さんの助言や他市の開港記念事業の困難点を踏まえて、紹介文をどのように修正しますか。練り直しなさい。

- 条件を再確認する。
  - ・ 約300～400字前後におさめる。
  - ・ 関連した hashtag を貼るようにする。

- 評価の観点：思考・判断・表現
- 評価方法：タブレット端末のデータワークシート

- いくつかのグループの紹介文を全体で共有する。

街並みの魅力を再発見してもらえるようになってほしいです！

また、SNSでも投稿が可能なので、中学生や高校生、そして小さな子どもたちも身近な遊びとして気軽に投稿してください！

私たちはこのイベントを実現できるように企画を作成中です！全国に発信していきます！

あなたにとって「ニイガタ」とは何ですか？

#新潟開港 150

#niiport

- 生徒は、紹介文を再考することを通して、みなとまち新潟の魅力が活かされ、過去、現在、未来の世代の思いや願いが相互に関連付けることが大切であることに気づき、提案プランに本当に必要な要素を再構成する。

鈴木さんの助言や他市の開港記念事業の困難点を踏まえて、生徒は、赤字の箇所のように、活かしたいみなとまち新潟の魅力をコンセプトとして明確化したり、青字の箇所のように、みなとまち新潟の魅力を次世代につながる工夫として修正したりして内容を再考する。